

1. 目的

室見排水区に位置する有田地区では、近年常襲するゲリラ豪雨により浸水被害が発生しており、甚大な被害が生じている。当該地区は南部に位置する西田隈排水区からの流入があり、これらの水の制御はゲートの開閉、分水構造により行われている。これは流域一円が室見川と金屑川の間で圃場を形成し、網目状に布設された用水路を排水路として利用していることに起因する。

排水施設計画は、「雨水整備Doプラン2026」の計画雨量59.1mm/hの降水量に対応すべく、一部の雨水渠の改修を残しているものの、合理式により算出した流出量を想定した雨水渠の断面検討や水利組合との協定によるゲートの開閉協議は完了しているところである。しかし、浸水被害は想定以上の範囲・規模で発生しており、当地区の合理式での判断では限界を感じているところである。

本業務は、当地区350haにおいて流出解析を行い、浸水の原因とその対策について講じることを目的とする。

2. 業務概要

業務名	有田地区外浸水対策検討業務委託
発注者	福岡市 道路下水道局 建設部 西部下水道課
受注者	アジアエンジニアリング株式会社
工期	令和6年9月11日から令和8年2月27日まで
契約金額	30,812,100円(税込)
業務内容	基礎調査……………一式 流出解析……………一式

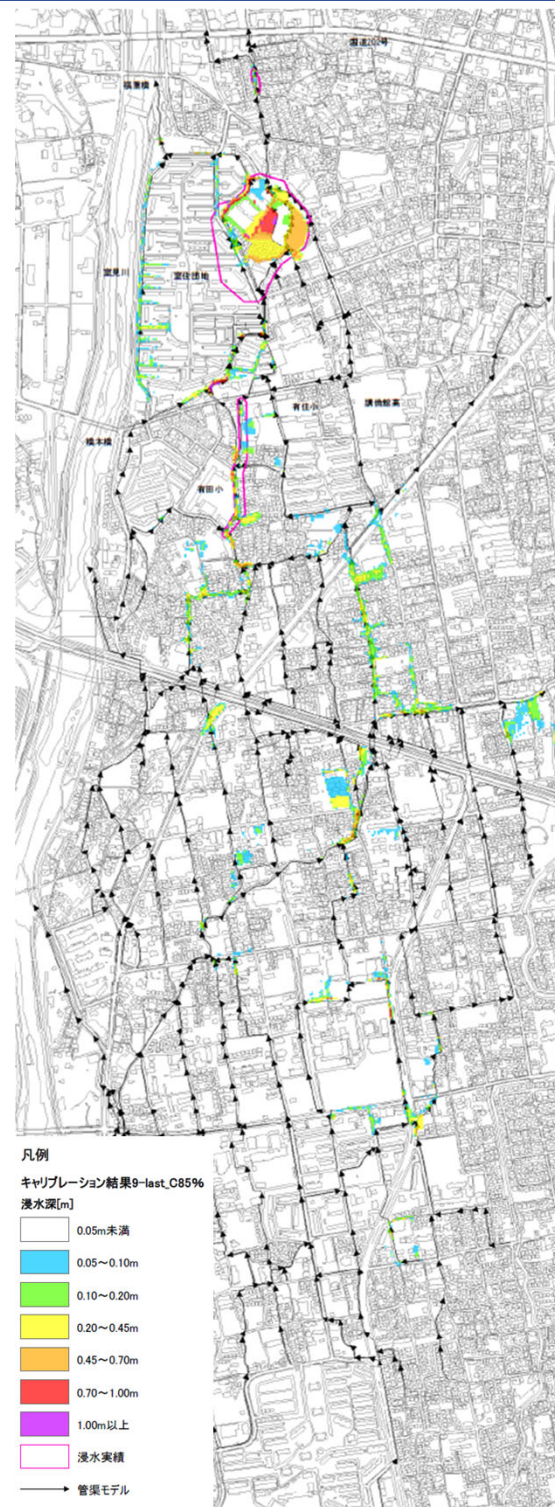
3. 特に顕著な事柄

- (ア) 業務に係る知識に精通し、現地条件や地元からの情報を考慮した精度の高い現況再現がなされた。また、浸水対策の検討においては、施設整備の実現性や整備段階ごとの効果発現等を考慮した段階的な対策計画を提案し、質の高い成果が得られた。
- (イ) 発注者の指示に対し、迅速かつ的確に資料の作成がなされ、業務に係る積極性も優れていた。

①室見川吐口(平常時)



②室見川吐口(R5.7.10)



③室見第2雨水幹線
・室見第3雨水幹線分流部



④室見第2雨水幹線・用水路伏越し部



⑤西田隈第1雨水幹線・用水路並走部



⑥花立用水路断面部

